

【研究室名】

生体適合性物質科学研究室

【担当教員】

教授 谷原 正夫、准教授 安藤 剛、助教 寺田 佳世、助教 小林 未明

【教育目的】

社会で通用する一人前の研究者の育成

【指導方針】

- (1) 自主性、積極性、計画性を育成する指導
十分に調査・検討した上で積極的に提案を求める。
- (2) 正確な実験手法の指導
実験に対する厳密性、信頼性、再現性、的確性を求める。
- (3) 継続性の指導
決してあきらめず、粘り強く研究を遂行する能力を求める。
- (4) 好奇心を尊重した指導
全ての経過、結果に関心と責任を求める。

【ゼミナール】

雑誌会（論文紹介、Research Review、特別講演等）：1回／週

勉強会（化学英語、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学）：1回／週

研究報告会：1回／月

研究成果報告会：2回／年

【参考書】

特に定めていない。

【修士学位取得条件】

学会発表が可能な研究成果を挙げ、自ら発表できること。

原著論文の一部となる実験結果を得ること。

自分の研究について指導教員と討論ができること。

【博士学位取得条件】

国際学会で発表できる研究成果を挙げ、自ら発表できること。

原著論文複数報を投稿可能な研究成果を挙げること。

原著論文を最低1報投稿し、採択されること。

2～3人の修士課程の学生の実験指導ができること。